

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1-1	理念に立ち返ってケアをかんがえる事が常に出来ているか意識化しているか。	理念に沿ったケアが出来るようになる。	今できていることは何か。 無意識のうちに実践していることにも気付き言語化していく。	6ヶ月
2	35-17	利用者様の重度化で車いすでの移動が多くなっており時間がかかる。	昼夜問わずスロープを使ってサ高住への避難がスムーズに出来る。	夜間の場合スロープの出口の開錠がすぐに行える様鍵の置き場所の周知徹底。 スロープを普段から使ってサ高住への移動に慣れておく。	6ヶ月
3	40-19	食事を一緒に作る事が難しくなっている。 例えば餃子包み生肉を口に入れる。	参加した喜びを感じていただく。	エンドウ等のスジ取り、玉ねぎの皮むき等出来ることへの参加。 「料理の手順、切り方を教えてください」と声掛けする。味見をして頂く。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。